

インカレ代替大会についての決定事項

文責:日本学生オリエンテーリング連盟

①議論の経緯

2020年度インカレミドル・リレー(以下、ICMR)不開催時について、当初ICMR2020実行委員会(以下、実行委員会)および日本学生オリエンテーリング連盟(以下、日学)では、代替大会を開催する予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染状況の拡大および日学の会計状況を勘案し、これについて議論を行うことを決定した。

②決定事項

本決定事項は幹事会において採決をとり決定した。詳細については議事録を参照していただきたい。

A.2020ICMR 中止時について、代替大会を開催しない。

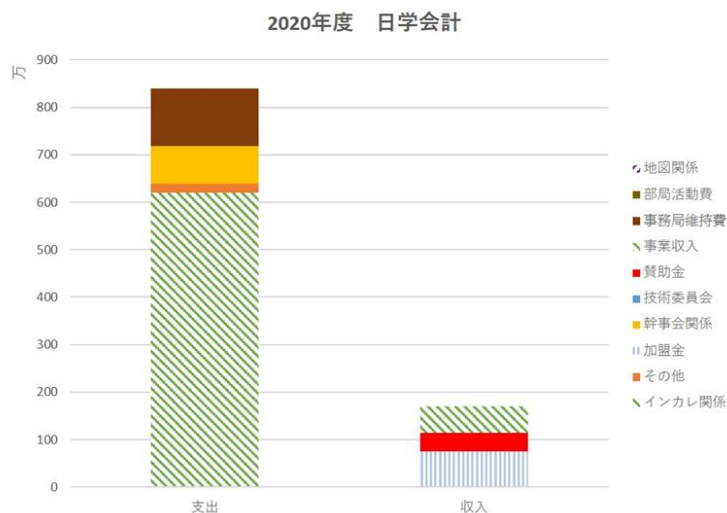
以下に、主な理由を示す。

1)感染状況の拡大

別途、日学が作成した2020ICMR開催判断に基づき中止判断となるような社会情勢であれば、たとえ開催したとしても参加者が少ない、かつ参加者の安全を担保できる状況でないと考えられる。このため、中止が妥当であると考えた。

2)日学の会計状況について

現時点での、日学会計を以下に図で示す。今年度は、新型コロナウイルスの影響によるICLへの補填や加盟費の減少により日学会計は厳しい状況にある。今後、関西学連とも協議を進めていくが、2020ICMR中止の場合は、開催地(テレイン)をそのまま2021ICMRに利用することで来年度の支出を抑えることが見込める。このため、中止が妥当であると考えた。



B.2020ICMR 単日開催時について、翌日に代替大会を開催しない。

以下に、主な理由を示す。

1)感染状況の拡大

別途、日学が作成した 2020ICMR 開催判断に基づき単日開催判断となるようであれば、翌日代替大会を開催したとしても参加できる学校に限りがあると考えられ、運営リソースに対する学生参加者を確保できないことが予想される。このため、中止が妥当であると考えた。

2)コンプライアンスについて

開催地である三重県においても独自の「緊急警戒宣言」が出るなど、依然新型コロナウイルスに対する警戒は強まる一方である。そのような厳しい状況の中でも、「学生のために」というところで、現時点では開催について許可を出していただいている。そうした思いを勘案し、一番日学として守るべき「インカレ」のみに注力し、感染リスクを下げることを優先すべきだと考えた。このため、中止が妥当であると考えた。

他にも本議案については、様々な意見が交わされました。選手の思いという視点からの意見、運営の視点からの意見、そして将来という視点からの意見…それらの意見を踏まえて学生の代表である日学幹事は、各自必死に考え投票を行いました。本決定事項は、その投票の結果によって決定されたことをご理解ください。

また、日学および実行委員会では現在、学生が「インカレ」を求めていると考え、開催に向け必死に準備および議論を行っています。無事インカレが開催されるよう感染拡大防止にご協力ください。基本的な感染対策(競技中以外はマスクを着用するなど)の徹底やクラブ内での大人数での会食の回避、そして各大学の指示に従うこと。インカレ開催のためにも、ぜひ協力、ご理解お願いいたします。